

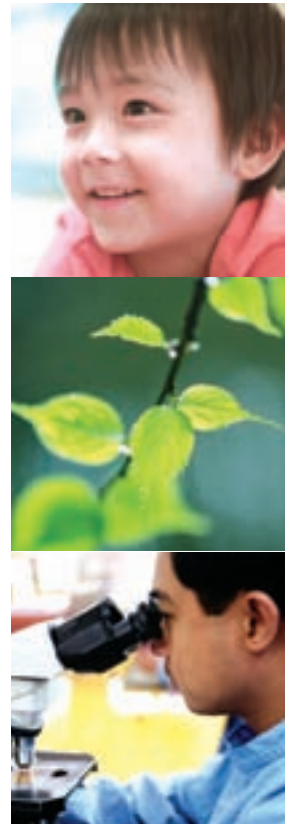


昭和電工株式会社

株主のみなさまへ 別冊特集

# 昭和電工グループの 目指す「社会貢献企業」

～すべてのステークホルダーの皆様にご信頼され、評価される企業グループを目指して～



株主の皆様におかれましては、平素より、当社施策に特段のご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

当社グループは、個性的で優位性を持つ製品・サービスをご提供することを通して、社会の発展に貢献する「社会貢献企業」を目指し、まい進しております。

当社の目指すべき姿をよりよくご理解賜りたく、第99期中間決算のご報告にあわせ、本書をご活用いただきたく存じます。

# トップインタビュー 昭和電工グループの目指す「社会貢献企業」とは

昭和電工グループはその目指す姿を「社会貢献企業」と位置づけています。  
当社社長 高橋恭平に「社会貢献企業」に対する思いを聞きました。

## VISION OF SHOWA DENKO GROUP

**Q.** 昭和電工グループが目指す姿として「社会貢献企業」を掲げていますが、わかりやすく説明してください。

**A.** 私の考える「社会貢献企業」とは、事業や製品を通して社会の発展に貢献する企業です。

ご承知のとおり当社グループの製品は、最終消費財ではない素材や部材が中心ですので、メーカーの皆様から「昭和電工の製品はいいね。」「昭和電工の製品がないと困るんだよ。」と言っていただける製品を数多くご提供していくことが、消費者の皆様喜んでいただき、生活を豊かにすることにつながっていくのだと考えています。私は当社グループをそのような「社会貢献企業」にしたいのです。

**Q.** 一般的に社会貢献というと、芸術、文化、地域社会への貢献というイメージがありますが。

**A.** 私は、企業も社会の一員として、社会とともに発展をしていきたいと考えています。このため、社会との共生のための活動や災害への援助などに対しても積極的に行動していきます。同時に、地球環境に優しい製品を提供することを通して環境問題の解決にも貢献していきますし、さまざまな製品を通して私たちの生活を豊かにしていきたいのです。そのことが私にとって大きな喜びであり、「さらに素晴らしいものを生み出していこう」という気持ちにつながっていきます。それが私の言うところの「社会貢献」であり、働くことの原点と言ってもいいかもしれません。



昭和電工株式会社 取締役社長

高橋恭平

**Q.** 「社会貢献企業」をどのように実現していこうと考えていますか。

**A.** 私は2010年に当社グループが「社会貢献企業」としてどのような姿にあるべきかをイメージし目標を掲げました。

それは、強い財務基盤を持ち、広範な素材・技術に裏打ちされた個性的で競争力のある事業群を持つとともに、CSR（※1）活動の充実により社会と市場で高い信頼と評価を受ける企業を実現することです。計数的には、営業利益1,000億円、売上高営業利益率10%、D/Eレシオ（※2）1.0倍をイメージしています。

昨年スタートさせた連結中期経営計画「プロジェクト・パッション」は、構造改革から成長へと舵をきる2008年までのアクションプランであり、「社会貢献企業」実現への道筋と考えています。

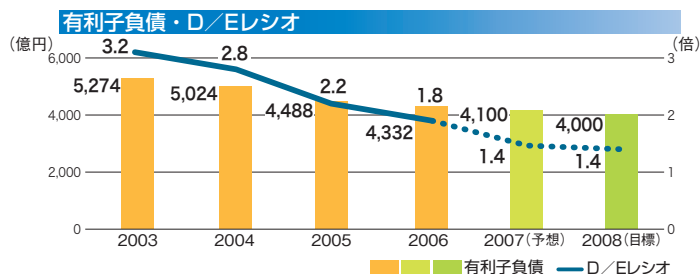
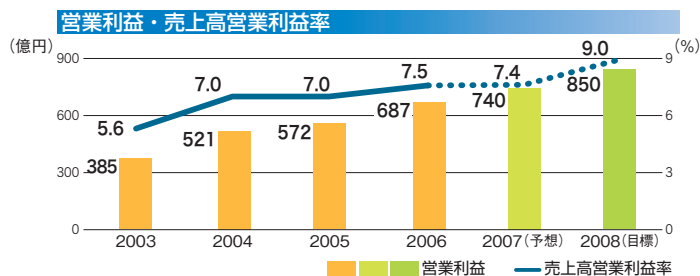
具体的には、需要が旺盛なハードディスク事業などへの設備投資や、これからの成長・発展を支える製品を育成するための研究開発投資を積極的に行っております。

私は社内に対して、常に「変革への情熱」「オンリーワン・ナンバーワン製品・技術」「絶対品質」「絶対コスト」にこだわるよう言っています。それは、内から湧き上がる変革への情熱を胸に、当社グループの持つ広範な素材・技術を用いて、圧倒的な品質とコストを持った私どもにしか作れない製品や技術を生み出し続けて行くように求めているという意味です。このことは青色LEDの新製造法開発やリチウムイオン電池用カーボンナノファイバーを世界で初めて商品化するなど多くの分野で着実に成果をあげてきています。

（※1）CSR  
Corporate Social Responsibility の略  
企業の社会的責任

一方、当社の有利子負債は、一時期に比較すると少なくなっていますが、決して満足できる水準にはありませんので、財務体質の強化も同時に推進していきます。

計数的目標に対する進捗状況は、グラフに示したとおり順調に進んでいるとお考えいただければと思います。



**Q.** 当社グループの目指す姿が鮮明になったと思います。最後に、株主の皆様メッセージをお願いします。

**A.** 私は、株主の皆様のご期待に沿えるよう、経営陣、従業員一丸となって企業価値の向上にまい進し、当社グループが「社会貢献企業」として株主の皆様からも評価される企業グループになることをお約束いたします。

株主の皆様におかれましては、当社グループの目指す姿をご理解いただき、ご支援を賜りますようお願いいたします。

（※2）D/Eレシオ  
自己資本に対する有利子負債の割合で、低い方が企業の安全度が高いと言われています。

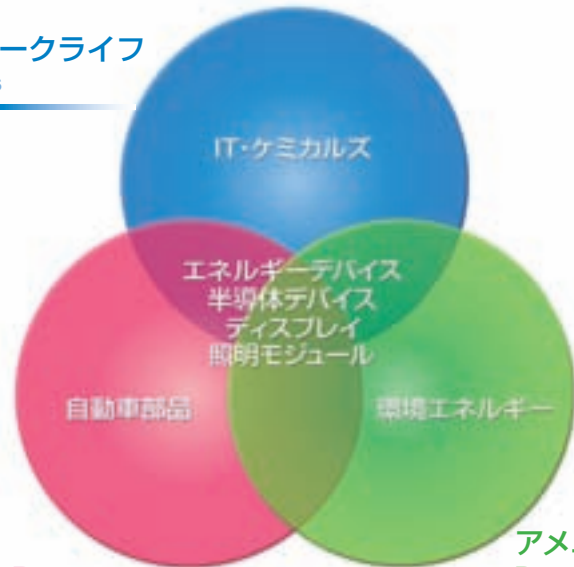
# 社会の発展を支える昭和電工グループの個性派製品 ～こんなところで、私たちの生活を支えています～

## PRODUCTS OF SHOWA DENKO GROUP

昭和電工グループは、「人々の暮らし」という視点に立ち、「ITネットワークライフ」、「カーライフ」、「アメニティライフ」の3つの分野をターゲット市場として、有機化学、無機化学、アルミニウムなど、さまざまな分野の個性的な技術を活かし、社会の持続的な発展を支える製品を提供しています。

他社にはない、当社グループの持つ素材や技術を活用できる「IT・ケミカルズ」、「自動車部品」、「環境エネルギー」、「エネルギーデバイス」、「半導体デバイス」、「ディスプレイ」、「照明モジュール」の分野に経営資源を集中的に投入していきます。

### IT ネットワークライフ Electronics



### カーライフ Automotive Parts

### アメニティライフ Personal Care / Environmental Goods

## カーライフ Automotive Parts

### ●自動車に不可欠な製品群

**CBN (立法晶窒化ホウ素)**  
エンジンシリンダーやブレーキディスク用高強度材料の切削、研削工具など

**アルミナ (酸化アルミニウム)**  
排ガス処理用の触媒担体用途など

**各種樹脂原料 (エチレン、プロピレン)**  
内装材や外装材用樹脂の原料など

**ハードディスク**  
カーナビ用など

**ショウブレン® (合成ゴム)**  
ベルト、ホースなど



ラジエーターは  
ホンダF1 チームに供給しています

■自動車用熱交換器  
コンデンサー  
エバポレーター  
ヒーターコア  
インタークーラー  
ラジエーターなど



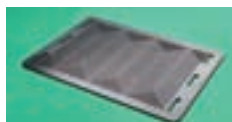
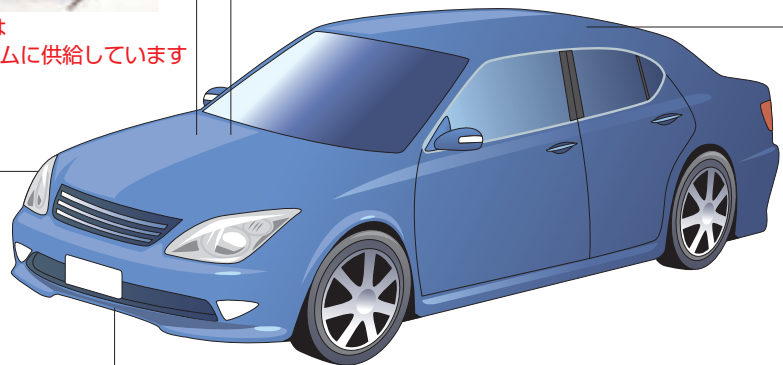
■SHOTIC®  
カーエアコン用  
コンプレッサー用途など



■不飽和ポリエステル樹脂  
強化プラスチックの原料など



■アルミニウム押出品  
フレーム・バンパーなど三次元曲げ加工製品



■燃料電池用セパレーター  
未来の燃料電池車用重要部材も  
提供しています。



■超高輝度発光ダイオード  
ハイマウントストップランプなど



## IT ネットワークライフ

### Electronics

●半導体やディスプレイ製造に不可欠な製品群

「VGCF<sup>®</sup>」(カーボンナノファイバー)  
リチウムイオン電池用添加剤

半導体用特殊ガス  
エッチングガス、クリーニングガスなど

有機EL素子(開発中)  
ディスプレイ用途

高純度薬品  
レジスト薬品の洗浄剤

CMP スラリー  
半導体回路を平坦にする研磨材料

酸化チタン  
情報通信機器向けセラミックコンデンサー用

カレンズ<sup>®</sup>  
光硬化性レジスト材原料

薄型ディスプレイ

HDD レコーダー

■ショウロックス<sup>®</sup>  
液晶ガラス研磨剤

■ST-60  
アルミニウム製放熱板

■電解コンデンサー用  
高純度アルミ箔

■超高輝度発光ダイオード  
各種表示、バックライトなど

■アルミニウムシリンダー「ED管」  
プリンター用感光ドラム

レーザープリンター

■アルミ高分子固体コンデンサー

■レアアース磁石合金  
携帯電話バイブレーター、  
HDD用モーターなど

パソコン

携帯電話

携帯音楽プレーヤー

■ハードディスク (HD)  
パソコン等記録用

■アルミニウム製電池用包装材料  
アルミラミネート製  
リチウムイオン電池包装材料

## アメニティライフ

### Personal Care / Environmental Goods

●生活に不可欠な製品群

グリシン・アラニン  
食品添加物(うまみ増進)など

エコアン<sup>®</sup>(廃プラスチックを原料  
としたアンモニア)  
化学肥料、合成繊維、医薬品原料、  
脱硝用(火力発電所)など

亜酸化窒素(笑気ガス)  
全身麻酔用医薬品

医農薬中間体  
イソフタルニトリルなど

スピエラ<sup>®</sup>(弱酸性カーリング剤)  
毛髪にやさしいカーリング剤

酢酸  
合成繊維原料など

ピオノーレ<sup>®</sup>(生分解性プラスチック)  
農業用フィルムや各種樹脂原料など

■水酸化アルミニウム  
歯磨き粉用研磨剤など

■次亜塩素酸ソーダ  
水道水の消毒用など

■アルミニウム缶  
ビール、飲料缶など

■アリルアルコール  
眼鏡レンズなど

■化粧品原料  
ビタミンC誘導体、  
紫外線遮蔽剤など

■酢酸エチル  
環境にやさしい塗料原料など

■ショウワエコパイプ<sup>®</sup>  
ペットボトルリサイクルによる排水用  
パイプなど

■水酸化アルミニウム  
人造大理石原料・難燃剤など

■PAS (ポリアクリル酸ソーダ)  
医療用パップ剤など

■酢酸ビニル  
接着剤原料など

# 社会貢献企業を目指す 昭和電工グループの取り組み

## CSR OF SHOWA DENKO GROUP

### グループ経営理念

私たちは、社会的に有用かつ安全でお客様の期待に応える製品・サービスの提供により企業価値を高め、株主にご満足いただくと共に、国際社会の一員としての責任を果たし、その健全な発展に貢献します。

当社グループでは、株主の皆様をはじめ、お客様、お取引先、地域関係者などのステークホルダーの皆様との適切な関係を維持、発展させていくことを通じて、企業価値の持続的な向上を図り、社会から信頼、評価される「社会貢献企業」を目指しています。

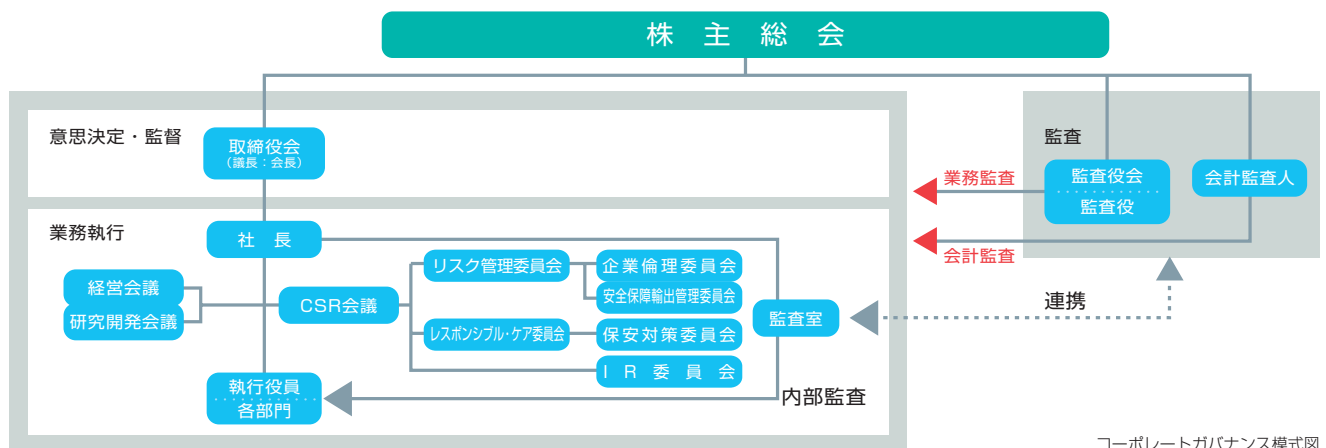
### 当社グループの CSR 活動

当社は、コーポレート・ガバナンス（企業統治）の充実、コンプライアンス（法令遵守）の強化、CSR 活動の充実のために、社長を議長とする CSR 会議を設置し、グループにおけるすべての施策が CSR の視点から審議されています。

当社グループの持つ「人間力」「技術力」により、皆様に評価される製品・サービスを提供すること、コーポレート・ガバナンスとコンプライアンスを徹底すること、化学物質にかかわる環境、安全、健康に配慮するレスポンシブル・ケアを強化することに積極的に取り組んでいます。

### コーポレート・ガバナンス

「社会貢献企業」を目指す当社グループは、経営の健全性、実効性そして透明性を確保するためのコーポレート・ガバナンスを最も重要な経営課題の一つと認識しています。



コーポレートガバナンス模式図

基本方針は次のとおりです。

#### 1) コンプライアンスの強化

事業活動全般にわたり、法令を遵守するとともに、社会の常識から見て不公正ととられるような活動は一切行わないことを経営の最重要課題の一つとして位置づけ、各種研修やコンプライアンス推進体制の強化により浸透を図っています。

## 2) 意思決定および業務執行の実効性・迅速性の確保と経営の監督・監視機能の強化

経営の監督機能と業務執行機能の役割分担の明確化のため、執行役員制度を導入しています。経営会議、取締役会を通じて、案件の審査、実効性の確保を迅速に行う体制を整えています。一方、執行役員を兼任しない取締役会長が取締役会の議長を務めることと、監査役会による経営の監視によって、経営の適正性の確保に実効性を持たせています。

## 3) 経営責任の明確化

取締役および執行役員任期を1年としており、長期的なビジョンに沿った1年ごとの課題に対する経営者の責任をより明確にし、経営にあたっています。

## 4) ディスクロージャー（情報開示）の強化

株主や投資家の皆様に当社の企業経営、企業活動、戦略をご理解いただき、当社の企業価値を正しく評価いただくための重要な活動として、会社情報をわかりやすく、公平、タイムリーかつ正確に開示します。

## 環境・安全・健康への取り組み

さまざまな化学物質を使用する化学メーカーとして、レスポンシブル・ケア委員会を中核に、省エネルギー、省資源、リサイクル、ゼロエミッションを目指した廃棄物削減、温室効果ガス削減、化学物質排出管理、保安防災、労働安全衛生などの取り組みを進めています。

これまでの活動により、2006年度は1990年度に比較し、エネルギー原単位は24%削減、埋立処分量は89%削減などの成果をあげているほか、アルミ缶リサイクル活動では昨年726万缶を回収し、収益は従業員の希望により、チャリティとして各地の社会福祉基金などに寄付を行っています。



レスポンシブル・ケア委員会



アルミ缶リサイクル活動収益金を寄付(港区社会福祉協議会)

## 社会との共生

各地の事業場では工場見学会、教育活動などを通して、地域の皆様とのコミュニケーションに取り組んでいます。

川崎事業所にある「ケミカル・プラスチックリサイクル」プラントでは、包装容器として使用されたプラスチックを回収しアンモニアにリサイクルしていますが、昨年は3000名以上の方が見学され、当社の取り組みに理解を深めていただいています。

大分コンビナート、秩父事業所、研究開発センターなどでは、子供たちに化学の楽しさ、すばらしさを知ってもらうため、近隣の小中学校に技術者を派遣し、化学の実験授業を実施しています。



リサイクルプラント見学の様子



昭和電工株式会社

〒105-8518 東京都港区芝大門 1-13-9  
Tel.03(5470)3111



環境安全のため、当紙100%大豆インキを使用し、「大豆インキ」で印刷しています。